

人の世に熱あれ。人間に光あれ

第29回
熱と光の解放文化祭



右上／宮前二地区独特の節回しの安来節



右下／『同和問題学習はすべての人間が
幸せになるための勉強です』と中
倉茂樹さん(徳島県)

左上／『人のつながりの大切さを伝えたい』
婦人会は「コノソラノシタ」を手話
歌で発表

10月30日(日)宮前隣保館を主会場に『第29回熱と光の解放文化祭』が開催されました。小・中学生など15名が人権作文を発表、また人権標語の表彰式も行われました。他にも各種団体がバザーを出店。午後からの記念講演には、地区外からも多くのみなさんが来場し、賑やかな文化祭となりました。

第3回
人権セミナー

心のユニバーサルデザイン



参加者がユニバーサルデザインの商品を手にして、どんな工夫がされ、誰にとって便利なのかを発表しました

◀ バリアフリーとユニバーサルデザインの違いや「心のユニバーサルデザイン」(人権意識)を話す、林栄和さん(鳥取県人権局)



11月9日(火)プラザ西伯で『第3回南部町人権セミナー』を開催しました。今回は南部町人権会議 保育・学校教育部会が担当し「いつでも、どこでも、だれにとっても」便利な工夫がされているユニバーサルデザインを通して、人権意識の大切さを学びました。



ミカエルの『今月の一言』

☆「誰かのために」は「みんなのために」だね☆